

1117	キャンパスアジア日本研究「 中韓学生とともに日中韓歴史 教科書を読む(LB)」		
英名科目名	Japanese Studies in Campus Asia4(LB)		
大学名	立命館大学		
連絡先	【衣笠教学課】TEL:075-465-8310		
担当教員	桂島 宣弘		
開講期間	2021年9月27日(月)～2022年1月19日(水) <毎週火曜日> 2時限:10:45～12:15 <教室案内> 「立命館大学の開講科目を受講する皆様へ」から 確認してください。 <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/r
enraku.html">http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/r enraku.html 補講日や祝日授業日など、学年暦は立命館大学H Pから確認してください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/profile/info/calendar/		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	火曜日 2講時
単位数	2	履修年次	2回生以上
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	30		
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	
試験・評価方法	【平常点評価】100% 授業への参加度、小課題ペーパー、発表・質疑応 答を総合的に評価する。 *受講生の積極的な参加、発表・討論などで運営 される授業のため、1/3以上欠席した者の単位は認 めない。 *報告担当日の無断欠席は厳禁(やむを得ない場 合は事前に連絡すること)。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>新型コロナウイルス感染症への対応情報につい て 立命館大学では、新型コロナウイルス感染症に対 する独自の行動指針(BCP)を設け、 BCPレベルに応じて授業実施形態や入構制限等を 判断しています。 立命館大学の行動指針(BCP)や入構制限状況、 その新型コロナウイルス感染症への対策等の情報 は以下HPからご確認ください。</p> <p><新型コロナウイルス感染症に関する特設ページ > <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/news/detail/?id=1679#
page-title1">http://www.ritsumeai.ac.jp/news/detail/?id=1679# page-title1</p> <p>シラバスの内容は本掲載内容から変更になるこ とがありますので、立命館大学HPから最新のシラ バスを確認してください。 <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/gaku/on
linesyllabus.htm">http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/gaku/on linesyllabus.htm</p> <p>【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続 の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特 別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定 の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講 ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/r
enraku.html">http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/r enraku.html</p> <p>新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の関係で</p>		

	中国・韓国学生が立命館大学への留学を中止する場 合は、受講決定後、授業開始までの間に京都コンソ ーシアム単位互換生の受け入れを取り止める可能性 がある。
パッケージ科目	
低回生受講推奨科目	
講義概要・到達目標	<p>【授業の概要】 本講義は「キャンパスアジアプログラム」学生(広東外大・東西大3 回生)が協働学習を行うことで、『東アジアからみる日本』について の理解を深める。講義は「日本語」で行う。 初めに前近代までの日中韓の相互認識及び近代ナショナリズムの成 立について、日本の場合に即して担当者が講義し、次いでナショナ リズム論の名著Anderson, Benedict『想像の共同体』(Imagined Communities: Reflections on the Origin and Spread of Nationalism) の一部を皆で講読していく。講読テキストは原則として日本語版を 使用するが、中国語版・韓国語版も参照して構わない。講読は以下 のように行う。 各自、分担された部分の内容と疑問点をまとめてくる。 内容のポイント、疑問について担当者からアドバイスする。 グループ・ディスカッションを行う。 ディスカッションの内容を共有し、テキストについての理解を深 める。 本講義は、「キャンパスアジアプログラム」学生(広東外大・東西大 3回生)と「コンソーシアム京都」受講学生のみが受講できる。</p> <p>【受講生の到達目標】 現代ナショナリズム論の概略について理解する。 前近代(ナショナリズム以前)の日中韓の相互認識のありように ついて理解する。 日本におけるナショナリズムの生成過程について理解する。 討論を通じて互いの自己像・他者像について理解することで、自 らを相対化できる。 アカデミック日本語を駆使して、円滑に発表や質疑応答が行うこ とができる。</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス】 *授業は原則として「日本語」で運営される。 *第8回目以降は、報告担当者は、報告レジュメをしっかりと作成 してくること。 *なお、報告担当者以外も該当箇所を予習してから授業に臨むこと (課題を課す場合もある)。</p> <p>【授業外学習の指示】 Anderson, Benedict『想像の共同体』(Imagined Communities: Reflections on the Origin and Spread of Nationalism)には、以下の日韓中翻訳版が存在している。 ・日本語版『定本 想像の共同体: ナショナリズムの起源と流行』、 白石隆・白石さや訳、書籍工房早山、2007年。 ・中国語版『想象的共同体--民族主義の起源と散布(増訂版) 』[美]本尼迪克特・安德森 著 吳叡人 译、上海人民出版社、2011年。 ・上記書籍の韓国語版 2002年。 授業では、日本語版を中心に講読するが、各自それぞれ韓国語版・ 中国語版を入手しておくことが望ましい(必要に応じて配布するこ とも可能)。 分担箇所について精読し、内容要約レジュメを日本語で作成し、疑 問点も整理すること。</p> <p>【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 manaba+R,学生との直接対話,その他(教員より別途指示)</p>
講義スケジュール	<p>第01回 【担当者による講義】オリエンテーション <キーワード、補足事項等> ・授業運営・方法、評価基準などに関する説明 ・中韓学生の日本観・自己認識について紹介し合う</p> <p>第02回 【担当者による講義】前近代の相互認識の枠組み <キーワード、補足事項等> ・「近世帝国」 ・「近世帝国」期の歴史過程の概要</p> <p>第03回</p>

【担当者による講義】前近代の相互認識の枠組み

<キーワード、補足事項等>

- ・「儒学・朱子学」の相互認識
- ・明清王朝交替の影響

第04回

【担当者による講義】前近代朝鮮の日本観

<キーワード、補足事項等>

- ・日本通信使について
- ・通信使の日本観
- ・漂流民の日本観

第05回

【担当者による講義】日本におけるナショナリズムの生成

<キーワード、補足事項等>

- ・ナショナリズムとは何か
- ・国学のナショナリズム論

第06回

【担当者による講義】日本におけるナショナリズムの生成

<キーワード、補足事項等>

- ・18～19世紀に蝦夷地で起こったこと
- ・水戸学の主張

第07回

【全体討議】講義のまとめ

<キーワード、補足事項等>

- ・これまでの講義について、全体で共有し、疑問点などについて討議する

第08回～第14回

Anderson, Benedict 『想像の共同体』(Imagined Communities: Reflections on the Origin and Spread of Nationalism) の講読

<キーワード、補足事項等>

- ・分担箇所について各自が内容を要約し報告し、疑問点を提出する
- ・担当者からの回答と講評
- ・学生相互の討論(必要に応じてグループ討議を実施する)

第15回

まとめ

<キーワード、補足事項等>

- ・ナショナリズムの将来

【授業実施形態】

<BCP レベル 1-2>

(対面授業)

対面授業で実施します。ただし、一部の授業回をWEB授業で実施することがあります。

<BCP レベル 3-4>

(WEB授業)

WEB授業で実施します。一部、実習・フィールドワーク科目については、科目特性上、対面授業で実施する場合があります。該当授業については個別にmanaba+R等で通知します。

教科書	以下の[書名][著者][出版社][ISBNコード]を参照。 ・ 定本想像の共同体：ナショナリズムの起源と流行 ベネディクト・アンダーソン著；白石隆，白石さや訳 書籍工房早山 9784904701089 <備考> テキストは必要に応じて配布する。また、中国語版・韓国語版についても、必要に応じて配布する。
参考書	以下の[書名][著者][出版社][ISBNコード]を参照。 ・ 思想史で読む史学概論 桂島宣弘 文理閣 9784892598418 ・ 自他認識の思想史 桂島宣弘 有志舎 9784903426174 <備考> 必要に応じて配布する。 【参考になるwwwページ】 桂島宣弘のウェブページ http://www.ritsumeai.ac.jp/~katsura/index.html